2026年9月 発行

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

海外事務所レポート

ニューヨーク市におけるSummer Streets

北陸銀行 法人ソリューション部
ニューヨーク駐在員事務所
所長　安川　幸治

１．夏の恒例イベント「サマー・ストリーツ」

ニューヨークでは、毎年8月の毎週土曜日に「サマー・ストリーツ（Summer Streets）」というイベントが開催されています。午前7時から午後3時までの間、大通りの車両通行を禁止し、市民や観光客に広く開放する大規模な「歩行者天国イベント」です。

本イベントは、2008年に当時のマイケル・ブルームバーグ市長のもとで始まりました。環境対策と都市空間の有効活用の一環として導入されたもので、コロンビアの首都ボゴタで毎週行われている大規模な車両通行止めイベント「シクロビア」をモデルにしているそうです。



パーク･アベニューの様子（筆者撮影）

２．サマー・ストリーツの目的

サマー・ストリーツはニューヨーク市交通局が主催しており、その主な狙いや目的は以下の通りです。

① 道路を人が主役の空間へ

普段は自動車に占有されている道路を、市民のための貴重な公共空間として見直すことが狙いです。車による渋滞や騒音、クラクションのない安全で快適な環境を作ることで、道路を単なる移動手段から、人々が集い、交流し、楽しむ場へと変えています。

② 環境負荷の軽減

イベント開催中は自動車の利用を一時的に抑えることで、排気ガスを削減し、環境保全への意識を高めることを目指しています。あわせて、シェアサイクル（Citi Bike）の無料キャンペーンなども行われ、自転車や徒歩、公共交通機関を利用したアクティブ・モビリティの心地よさが体感できるよう工夫されています。

③ ウェルネスプログラムの実施

ルート上には複数の休憩所が設けられ、ヨガやズンバなどの無料フィットネスクラスやランニングイベントも開催されます。大都会の中心で思いきり体を動かす機会を提供することで、市民のアクティブで健康的なライフスタイルを後押ししています。

④ 文化振興と地域経済の活性化

沿道では、アーティストによる体験型パブリックアートの展示や音楽のライブパフォーマンス、無料の文化プログラムなどが展開されます。多くの歩行者が街に繰り出すことで、ルート周辺のローカルビジネスや商店への来訪も促され、地域経済の活性化にもつながっています。

３．サマー・ストリーツをめぐる課題

とある土曜日、マンハッタン・ミッドタウンを南北に貫く幹線道路「パーク・アベニュー」のサマー・ストリーツが実施されている区間を1マイルほど往復してみました。中央分離帯に鎮座するアート作品を横目に、大通りの真ん中を実際に歩くと開放感や爽快さを味わえました。

一方で、ミッドタウンを東西に移動したい車にとっては交通規制によって迂回を強いられることになり、大渋滞の元凶となっています。そのため、車の流れを改善するという本来の目的は十分に達成されているとは言い切れず、逆効果の側面も否めません。

また、商品の搬入・配送や車での来店が困難になるため、周辺店舗からは営業妨害との苦情も多く寄せられています。さらに、車による移動が必要な障がい者や高齢者からも不満の声が上がっており、実際に市を相手に訴訟を起こした事例もあるほどです。

サマー・ストリーツは、「車社会からの解放」という理想を掲げつつも、車がなければ生活や商売が成り立たない人々との摩擦を生みやすいイベントでもあります。都市の公共空間の在り方を問い直す象徴的な取り組みであると同時に、実現化の難しさを示す社会実験とも言えるでしょう。市当局はこうした課題を抱えながらも、今後も継続していく方針のようです。



グランド・セントラル・ターミナル周辺（筆者撮影）

＜ご注意＞
文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容についてはご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

発行：北陸銀行 法人ソリューション部 グローバルビジネス推進室
〒930-8637 富山市堤町通り1-2-26 TEL（076）423-7111